

農業塾第7講 果樹栽培基礎(現地視察)



果樹栽培の現地視察として、梨の園地を訪問しました。今回視察した園地は「幸水」という品種で、今からが最盛期。みずみずしくとてもおいしそうなお梨たちが出荷を待っていました。これらの梨はお盆までに出荷が終了し、それ以降は「豊水」の出荷がはじまります。

梨は疲労回復、解熱的作用があり、夏バテにも効果的です。暑い夏を乗り切るため、ぜひ食べてみてください。



次にデコポンの園地を視察しました。品種は「不知火」といい、枝の付け根が出っ張っている有名な品種です。

デコポンは、収穫が11月からとまだまだ青々しい状態でしたが、葉っぱ全体が太陽を受け充実しているようでした。かんきつ系は、庭木としても広く作られているため、受講生の方の関心も多く、たくさんの質問が飛び交っていました。



最後に、いちじくの園地を訪問しました。訪問した園地は「とよみつひめ」という品種で福岡生まれの新しい品種です。糖度が16~17度になり、甘みが強く果肉は緻密でジューシーなのが特徴です。今はまだ実が熟しておらず、収穫は8月中旬から行われます。

いちじくは、手間のかからない果実として、家庭の庭に最適ですので、ご家庭でも一本植えてみてはいかがでしょうか。

会議室にもどり、...

キウイフルーツや柿・かんきつの講義を行いました。キウイフルーツは、なかなか知られていませんが、なんと「八女」が生産量日本一です。食物繊維やビタミン・カリウムを多く含み、女性の美容にも効果なのでぜひ食べてみてください。

柿では、一番厄介な落下の原因についての講義。かんきつでは、美味しいミカンの見分け方など、豆知識いっぱいの楽しい講義となりました。